

ますな KOBÉ



第16号

TAKE FREE

July 2017



この情報誌は赤い羽根
共同募金配分金を受け
て発行しています。

特集.1 多様な性にYES!
自分らしく、ありのままにいられる社会を目指して

特集.2 久元神戸市長メッセージ
まちが助けあいであふれる、これからの神戸



私もやっとな！福祉のまちづくり
石橋 智美さん (arc-en-Fierte(アークアン フィエルテ)
マネージャー)

美味しい! かわいい! 福祉のお店

社会福祉法人白百合学園 就農レストラン

GIGLIO BIANCO II

催し・イベント情報ほか
読者アンケート&プレゼント

多様な性にYES! 自分らしく、ありのままでいられる社会を目指して

性のあり方が少数派の人たちのことを「セクシュアルマイノリティ(性的少数者)」と言います。「LGBT^{*}」といった一方で、当事者やその家族が様々な場面で孤独感や生きづらさを感じているという現実が今なお存在し、私たちがそうしたなか、初夏の兆しが見えだした5月のある週末。三宮の一角が「多様な性にYES!」と呼びかける声に満たされ、今号は、多様な性のあり方をポジティブに発信する団体「神戸IDAHO」が行った路上アクションと、その活動に込

言葉をメディアで見聞きすることが増え、近年、その認知も広まってきました。これから考えていかなければならないテーマのひとつでもあります。された一日がありました。める想いを特集します。

※LGBT…レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーの頭文字をとった言葉



あちこちで目を引く6色の虹は、多様な性のシンボルカラー。セクシュアリティは、虹色のように十人十色で多彩なものという意味が込められています。



さまざまなフラッグが大空にはためきました。「セクシュアルマイノリティ当事者も、そうでない人も含めた皆のセクシュアリティの話なんだということを伝えるために“多様な性”という言葉大切にしています」と小林さんは語っていました。

異性を好きなのが当たり前?性別って男と女だけ?だれかを好きになるのが「普通」?一人しか好きになったらだめ?実は性のあり方はひとりひとり異なります。

恋愛をする人、しない人。異性を好きになる人。同性を好きになる人。性別関係なく好きになる人。生まれた時の性別とは異なる性別で生きたい人、実際に生きる人。自分の性のあり方がわからない人、決めたくない人・・・このように性のあり方に対して、人それぞれの想いや考えがあるのです。

こうした「性の多様さ」を認めあおうと呼びかけるのが、今回紹介する神戸 IDAHO による路上アクション。

この活動は、2011 年にはじまり今年で 7 回目。セクシュアリティ(性のあり方)を問わないさまざまな想いをもちた 40 名以上の参加者が、休日賑わう三宮マルイ前で道行く人に声をかけ、チラシを手渡します。そうして呼びかけるのは、多様な性を認めあえる社会であってほしいという願い。どんな性のあり方でも「堂々と生きていきたい」。そんな想いを込めてメッセージを発信するのです。

各地から寄せられたメッセージを読みあげる参加者。そうして伝える想いは「私たちはすでに、一緒に生きている」ということ。

そしていつか、「セクシュアルマイノリティであるかに限らず、障がいがあるかないかや、出自の違いといったことも含めて、みんなが手を取り合って歩んでいける社会になりますように」という未来への願いも込められています。

この場に来ることはできなくても、自分に代わって仲間たちがその想いを伝えてくれるのです。



神戸IDAHO代表者の小林さんにお話を伺いました。

2009年に大阪で行われたアクションに参加したこと、それが神戸IDAHOを立上げるきっかけでした。

メッセージを読もうとマイクを握ったとき、人々の視線が怖くて、足が震えななか声が出ませんでした。でも、いつか自分の地元でもアクションを起こしたいという気持ちが起こりました。

神戸IDAHOは年に一度だけのイベントですが、いつか友人が「この日は特別。自分らしくいられる大切な日」と話してくれたことがあります。

私たちにとってこの一日は、伝えたい想いを訴えかけるだけでなく、仲間という心強さを感じあい、「また一年後のこのときまで頑張ろう」と元気を分かちあう日でもあるんです。いつの日か、誰もが毎日を自分らしくいられる日が来るように、そして、その日を迎えられずに失われていったいのちの分まで頑張りたいという想いが、このアクションの原動力です。

PROFILE



小林 和香さん(31歳)
神戸 IDAHO の代表者。個人としても学校や企業での講演を通じて、性の多様性についてひろく理解を呼びかける活動に取り組む。



多様な愛と祝福の声に満たされる神戸を願う 神戸北野のチャペルが踏み出す新たな一歩

人生の1ページを飾るイベントである結婚。愛しあふたりの新たな門出を祝うはずのこのイベントは、時としてセクシュアルマイノリティの人たちに葛藤を感じさせることがあります。

ふたりの愛を祝福してほしいという願いの陰にある、自らの個性をカミングアウトすることへの不安。その悩みの末に、夢を諦めてしまうカップルもいるそうです。

そうしたなか、中央区北野のチャペル「arc-en-Fierte(アークアン フィエルテ)」では、2016年からセクシュアルマイノリティのカップルに向けたサービスを提供。多様な愛のあり方に共感し、分け隔てない祝福を贈る同店の石橋さんにお話を伺いました。



arc-en-Fierte(アークアン フィエルテ)
マネージャー 石橋 智美さん

兵庫県出身。学生時代のアルバイトからプライダル業界に身を置かれ、今日に至るまで多くの、様々なカップルを祝福してこられました。

Q. セクシュアルマイノリティの方へのサービス提供をはじめたきっかけは？

メディアでセクシュアルマイノリティについて目にする機会が増え、ご自身の交際や結婚について家族・友人に打ち明けられない当事者の心情に触れました。プライダル業界の者として、この方々とうまく向き合えるのかを考えた末、サービスを提供させていただく運びとなりました。

Q. 反響のほどはいかがでしょうか。

おかげをもちましてたくさんのご相談をいただいております。ただ、お客様のもつ事情の繊細さゆえ、ご来店に至らないケースも少なからずございます。事前にできる限りの不安を解消したうえでご来店いただけるよう努めておりますが、一歩を踏み出すには大きな決断と勇気が必要なのだと実感しております。

当店では女性同士のカップルが多いのですが、トランスジェンダーのお客様もご来店いただいたことがあります。その際はそれぞれがこちらの性別にあわせた衣装をお召しになり、記念写真を撮られました。

挙式を希望されるお客様もおられますが、式にはおふたりだけか、多くても数名の列席者のみ。やはりカミングアウトに対する不安は大きいようで、こうした場面に立ち会えばこそ、当事者の方々が抱える悩みを肌身感じますね。



数名で開かれる結婚式は寂しさを感じますね…。

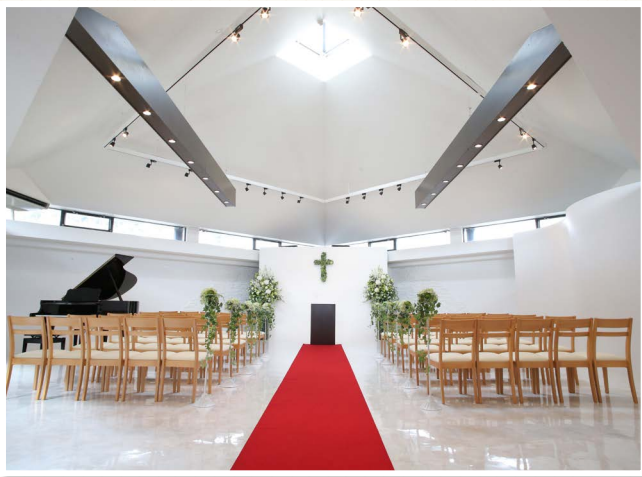
ただ、本人たちは本当に幸せそうで、その様子を目にして私も一緒に感動してしまうんです。

こうして関わらせていただくうえでの発見も多く、例えば同性愛の方々は同じ性別で気持ちがわかりあっているのか、パートナーに対する思いやりや気配りがすごく丁寧で信頼し合っていることがよく伝わってきます。そのような場面に出会うと、愛するパートナーを想う気持ちに性別の決まりはないんだと感じますね。

最後に、メッセージをお願いします。

性のあり方は異なっているけど、パートナーを思いやり、愛おしいと感じる気持ちに違いはないと思います。いつの日か、いろんな愛のかたちを認め合える社会になってほしいですね。

当店は今後ともお客様に寄り添い、不安をひとつずつ解消しながらおふたりの夢を叶えられるよう努めて参ります。メールでのお問合せにも応じておりますので、不安なことがあれば遠慮なくご相談いただけたらうれしいです。





離れた家族が
“つながる”

安心な「見守り機能」付き こーぷこーべのテレビめーむ

ご登録いただいたご家族のスマホにお知らせが入ります

買い間違いがないかチェックもできて安心！



テレビめーむとは
専用リモコンを使って操作するだけで、カンタンにテレビでこーぷこーべの宅配のお買い物ができるサービスです



大きな画面でこーぷこーべの宅配カタログをお買い物♪



テレビめーむを「ON!」

まずはお電話またはインターネットで

こーぷこーべくらしの情報センター
無料ダイヤル **0120-44-3100**
※電話のおかけ間違いにご注意ください

※携帯電話・IP電話からは
06-7636-2000へ
おかけください(有料)

受付時間
火～金曜日/8:30～19:30
土～月曜日/8:30～18:00

詳しくは
テレビめーむ 検索

美味しい！かわいい！福祉のお店

社会福祉法人白百合学園

就農レストラン **GIGLIO BIANCO II**

神戸市北区にある就農レストラン「GIGLIO BIANCO II」は、社会福祉法人白百合学園が運営するビュッフェスタイルのレストラン。同店では、区内の障がい福祉施設の利用者が手塩にかけて育てた野菜を提供しており、旬のとれたて野菜をたっぷりと味わえることで人気を呼んでいます。



店内には新鮮野菜をつかったメニューが目白押し。なかには同法人の利用者が育てた野菜も使用されており、生産から調理、接客などあらゆる場面で利用者が活躍し、店の運営を支えています。

ホテルで料理長を務めていたシェフが、その場で調理してくれる鉄板焼きも魅力のひとつ。焼き上げられるお肉やたまねぎのいい香りが店内に広がります。



法人スタッフの遠山さんにお話を伺いました



社会福祉法人
白百合学園
遠山 伸一さん

「私たちは、障がいのある人たちが地域の一員として“自然に”働き、やりがいや喜びに満ちた生活ができることを目指しています。“自然に”というのは、障がい者が頑張っているから、と特別な扱いをされないことでもあります。みなさんがそれぞれ目標をもって働き、ほかのお店と同じように普通にお食事を楽しんでいただく。おいしいからまたお越しいただける。そうしたほかと変わらない“普通”であれることが、真の障がい者の社会参加だと私たちは考えています」



法人の利用者で、店舗スタッフの田村さん。

オープン間もなくの頃から働いており、食材の下ごしらえや盛り付け、裏方仕事までこなす頼れる存在。これからの目標を伺ったところ、「すこしずつ料理の作り方を覚えて、いつか調理場に立ちたいです。そのときには僕のつくった料理をぜひ食べに来てください！」と意気込みを語ってくれました。

就農レストラン GIGLIO BIANCO II (社会福祉法人白百合学園内)

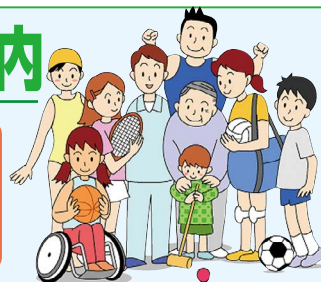
〒651-1144 神戸市北区大脇台12-1 しらゆりこども館1階 ☎078-594-7707 ☎078-594-7800

営業時間(年中無休) Lunch▶11:00~15:00(Close) オーダーストップ14:30 Dinner▶17:30~21:00(Close) オーダーストップ20:30

兵庫県ボランティア活動等行事用保険のご案内

この保険はボランティアグループ・市民活動団体が行事を主催する場合のものに備えた保険です。傷害保険と賠償責任保険がセットになっており、行事をされる際には、ぜひご検討ください。

1名50円、1日1,000円より
ご加入いただけます。
宿泊を伴う行事もごさいます。



お問い合わせ 神戸市社会福祉協議会 ボランティア情報センター
TEL:078-271-5306

取扱店 (株)兵庫福祉保険サービス

TEL:078-735-0166

引受保険会社:三井住友海上火災保険株式会社



神戸市長

久元 喜造

まちが助けあいであふれる、
これからの神戸

まちづくりについて考えるうえで欠かせない存在である市役所。それは福祉のまちづくりにおいても変わることはありません。

今回のきずな・KOBÉでは、神戸市の久元市長に、ご自身の故郷でもある神戸の未来像について、福祉のまちづくりの視点からお話をお寄せいただきました。

近年、わが国における超高齢社会の進行や人口減少社会の本格化に加え、地域では家庭や近隣における人と人のつながりの希薄化など、環境の大きな変化に伴って、市民が抱える福祉の課題も多様化・複雑化しています。

厳しさを増す今日の社会環境においては、行政と事業者、市民の協働により生まれる「市民福祉」を推し進めることこそが、これからの明るい神戸のまちづくりに欠かせないものであると考えています。

「市民福祉」とは言い換えれば「助け合い」です。誰かの助けになろうとするには、助けを必要とする人への共感の心がなくてはなりません。そのために、まずはご自分の周囲で見られる悩みや苦勞に想いを寄せることで理解と共感の心を育み、そこから差し伸べられる手のひとつひとつが、いずれ神戸のまちを温かく照らす灯火となっていくはずです。

わたしたちの暮らしを改めて見回すと、加齢により出歩くことが難しく閉じこもりがちとなった高齢者や、近隣とのつながりを持っていないままに孤独な子育てに悩みを抱える親子、他者とのコミュニケーションに戸惑う障がい者など、身近なところで悩みや苦勞を抱えた人たちの姿が見え隠れしています。

わたしたちは、こうした方々の存在に気付き、まずは「もしも自分がその当事者だったら」とイメージすることが、手を差し伸べる一歩となるのではないのでしょうか。

これからの福祉のあり方は、制度としてのサービス提供を前提としたこれまでのあり方から、「地域で助け合う暮らし」へ転換することが求められ、近隣地域による助け合いの力や、それを下支えする行政の役割が、益々重要になってきています。本市では、地域福祉ネットワークをはじめとした社会福祉協議会の皆さんとも連携しながら、地域で支え合う仕組みづくりを推進しているところです。

これからも、すべての市民が地域の一員として互いの個性を認め合い、支え合う地域共生社会となることを目指して、なお一層、市政運営に励んでまいります。

平成 29 年 7 月

第27回 **しあわせの村まつり** 7月29日(土) 雨天決行 16:00~20:00

※雨天の場合は、ステージイベントを屋内で開催します。(但し、キャラクターショーは中止します。)

フードゾーン&ふれあいショップ
中央緑道 16:00~20:00
約30団体出店!
休憩スペース700席

わんぱく広場
芝生広場 16:00~18:30
昔あそび、点字体験
ミニゴルフ体験

ビンゴ大会
先着 5,000枚(配付1600~)
豪華賞品が当たる!!

心揺さぶる透明な歌声をあなたに

手嶌葵ライブ 19:00~

ステージ
芝生広場 16:00~20:00
ダンスパフォーマンス
沖縄民謡
宇宙戦隊キュウレンジャーショー
県立神戸鈴蘭台高校
和太鼓部演奏
ビンゴ大会
手嶌葵ライブ

【お問合せ】(公財)こうべ市民福祉振興協会 TEL:078-743-8092



8月～10月の催し・イベントご案内



催し こべっこランド イベント案内

●おばけやしき

今年もこべっこランドにおばけやしきがやってきます。たくさんのおばけたちがみんなを待っています！

9月2日(土)～3日(日)

①10:00～12:30 ②13:30～16:00

【場所】神戸市総合児童センター(こべっこランド) 7階ホール

【対象】幼児と保護者または18歳未満の児童(未就学児は保護者同伴)

【定員】各時間帯250名[当日受付/先着順] 【参加費】無料

●こべっこランド30周年記念

ケロポンズがこべっこランドにやってきた！コンサート！！

こべっこランドにエビカニクスで大好きな「ケロポンズ」がやってきます。一度は、聞いたことのある曲がいっぱい！みんなでいっしょに楽しみましょう。

10月1日(日) 13:30～14:30

【場所】神戸市総合児童センター

(こべっこランド) 7階ホール

【対象】幼児と保護者または18歳未満の児童

【定員】250名[事前受付/8月1日から] 【参加費】無料

①神戸市総合児童センター

☎078-382-1300 ☎078-351-0684

E-mail: mail@kobekko.or.jp



講座 市民福祉大学 講座案内

●精神保健福祉ボランティア講座

こころの病について理解を深めるとともに、精神保健福祉ボランティア活動者の養成を目的とします。

8月23日(水)～10月6日(金) 全5回 ※実習1回含む

【場所】こうべ市民福祉交流センター 301教室、各区地域活動支援センター

【対象】市内在住・在学・在勤で、精神保健福祉ボランティアに関心のある方

【定員】40名[事前受付/抽選制 8月9日締切] 【受講料】2,500円

●上手な会議の作法を身につけよう！

参加者主体の会議にはコツがあります。参加したみんなが良かったと思える会議のノウハウを学びましょう！

9月6日(水) 9:30～16:30

【場所】こうべ市民福祉交流センター 302教室

【対象】市内在住、在勤、在学の方、社会福祉事業従事者 など

【定員】30名[事前受付/抽選制 8月23日締切] 【受講料】1,000円

①神戸市社会福祉協議会 市民福祉大学

☎078-271-5300 ☎078-271-5365

E-mail: daigaku@with-kobe.or.jp

区社協からのお知らせ

お知らせ

「元気なうちの税務相談所 ～終活・相続・遺贈寄付～」を開設します

終活とは、残りの人生をより良く生きるため、元気なうちに考えて準備しておくこと。エンディングノートや遺産相続などについて税理士が相談に応じます。

毎月第3水曜日 13:30～15:30(8月16日開始)

【場所】垂水区役所2階 垂水区社会福祉協議会相談室

【対象】原則として終活を希望するご本人 ※垂水区民優先

【定員】1日4名まで[事前受付/予約制 前日17:00までにご予約ください]

【参加費】無料

①神戸市垂水区社会福祉協議会 終活相談係

☎078-708-5151 ☎078-709-1332

E-mail: info@tarumi-csw.or.jp

講演会 手話で生活する聴覚障がい者について

コミュニケーション障がいと情報障がい、聴覚障がい者の日常生活の現状から社会への課題、地域との共生について学びます。

8月1日(火) 18:30～20:30

【場所】兵庫公会堂 大集会場(兵庫区役所 地階)

【対象】市内在住・在勤・在学の手話に関心のある方

【定員】100名[事前受付/先着順 7月28日締切] 【参加費】無料

①神戸市兵庫区社会福祉協議会

☎078-511-2111 ☎078-574-5771

E-mail: info@hyogoku-shakyo.or.jp



障害者スポーツ振興センターのご紹介

障害者スポーツ振興センターでは、障害者スポーツ教室・障害者スポーツ大会のほか、地域に向いて障害者スポーツを支援する活動、スポーツリーダーの養成・派遣事業など障害者スポーツに関する様々な活動に取り組んでいます。詳しくはセンターホームページに記載していますので、ぜひご利用ください。

www.kobesad.jp



ご寄附をありがとうございます。

～みなさまの善意を神戸市の福祉活動に役立てます～

※寄付をしていただいた個人・法人は、所得税・法人税の優遇措置が受けられます

【善意銀行】平成29年1月～平成29年5月末

善意銀行では、金銭・物品のご寄附を「金銭口座」と「物品口座」にお預かりしています。〈敬称略。ご承諾をいただいた方のみ掲載しています〉

預託
の部

金銭口座：岡本尚彦、日本入れ歯リサイクル協会、公益財団法人 神戸市産業振興財団 神戸ファッション美術館、匿名10件

物品口座：株式会社シエス、損害保険ジャパン日本興亜株式会社、中谷庄一、ナプテスコ株式会社

払出
の部

金銭口座：神戸市乳児院連盟

物品口座：神戸市母子生活支援施設、NPO法人ウィメンズネット・こうべ、神戸市知的障害者施設連盟、家庭養護促進協会、区社会福祉協議会

重要

「介護福祉士受験される皆様へ」実務者研修 開催教室

※兵庫県内
10ヶ所開催中

満席
クラス
多数！

9月生～7/26(水)

まで募集受付中 ※先着順となります。

受講料89,990円(税別)

※ホームヘルパー2級/初任者研修資格保有の方の金額です。

平成30年1月介護福祉士受験予定の方は、8/31(木)までに実務者研修のお申込が必須です。

■一般教育訓練対象講座
(受講料の20%が戻ります。)

■教育ローン制度有
(月々4,400円～) ※審査有



修了生 綾木茂子さん

元町 神戸市中央区明石町44 神戸御幸ビル4F
学園都市 神戸市西区学園西町1丁目1番2号
加西 加西市三ツ口1257-3
明石 明石市大明石町1-7-33 大手ビル2F
加古川 加古川市加古川町溝之口700 平成ビル5F
姫路 姫路市東延末1-5 姫路駅南taihoビル2・3F
西宮 西宮市和上町5-7 ホワイエ西宮ビル3F
尼崎 尼崎市昭和通3丁目90-1 尼崎KRビル3F
川西 川西市栄町10-5 パルティ川西4F
淡路島 南あわじ市市円行寺532-7 円行寺テナント2F

三幸福祉カレッジ

☎0120-515-350

(平日9:00～19:30/携帯可)

http://www.sanko-fukushi.com/branch/kob/

※お問い合わせ・お申込みはお電話でも承ります。

お申込、資料請求はこちら

三幸 実務者研修

検索



プレゼント

アンケートにご協力ください（応募締切：8月18日必着）
「きずな♥️KOBÉ」第16号はいかがでしたか？
ご覧になった感想をお寄せください。お寄せいただいた方のなか
から抽選で、下記の賞品をプレゼント！

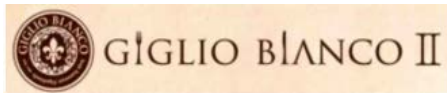
A

社会福祉法人白百合学園より

「GIGLIO BIANCO II」ペアお食事券

今号で紹介した就農レスト
ラン「GIGLIO BIANCO II」
のペアお食事券をプレゼン
ト！

神戸市北区で育てられた新
鮮野菜たっぷりのお食事
を、心ゆくまでお楽しみく
ださい！



2組4名様

※ランチタイム、ディナータイムのいずれでもご利用いただけます。
※本券は大人、小人に関わらず1枚につき1名までのご利用となります。
※アルコール類など、お食事と別料金ものは本券の利用に含まれません。
※本券は神戸市東灘区にある姉妹店「GIGLIO BIANCO」ではご利用いただけません。

B

神戸開港150年記念「港都KOBÉ芸術祭」より
アート観賞船ペア乗船チケット

神戸開港 150 年記念「港都 KOBÉ 芸術祭」より、アート観賞船ペ
ア乗船チケットをプレゼント！明治の開港以来、諸国の人・もの・情報
が行き交う拠点として神戸の文化風土を育んできた神戸港。当芸術
祭は「時を刻み、豊かな広がりへ」をテーマに、長い歳月とともに培
われてきた多様なあふれる神戸の魅力を、アートの力で発信します。
神戸港、神戸空港島を中心に各所で展示される作品の中には、観賞船に乗らないと見
ることのできないものも。ぜひこの機会にお越しいただき、神戸の魅力に触れてくだ
さい。

会期:平成29年9月16日～10月15日 5組10名様

※当選者には8月以降、ペア乗船チケットを随時発送します。
※催事の詳細は港都 KOBÉ 芸術祭特設ページ <http://www.kobe-artfes.jp/> をご覧ください。



読者のお声

VOICE

～第15号に寄せて～

●「うおっワーキングタウン」の特集を読んで、
こんなイベントが地元の人達の協力で実現でき
るなんて、素晴らしい地域だなと感動しました。
私の住む地域でもできないものか考えていき
たいと思います。 Y.Hさん(44歳)

●すきっぷ、頼もしいですね。私はもっぱら「イ
イミミ」世代ですが、助け合って繋がる、同じ
根っこからこういう活動も育っているんだ、と
感心しています。 H.Kさん(65歳)

●三年生の娘が校外学習で、北神みずぐりにい
きました。その影響か、今回の味噌の記事に釘
付けで一緒に読んでいました。味噌バターラ
スク作ってみたいです。 A.Kさん(35歳)

【応募方法】ハガキまたはEメールで

お名前、ご住所（〒）、電話番号、年齢と希望の
プレゼント名、本誌へのご感想を明記して、下
記までご応募ください。当選者の発表は賞品の
発送に代えさせていただきます。

ハガキ 〒 651-0086
神戸市中央区磯上通 3-1-32
神戸市社会福祉協議会
「きずな・こうべ」プレゼント係へ

Eメール kouhou@with-kobe.or.jp

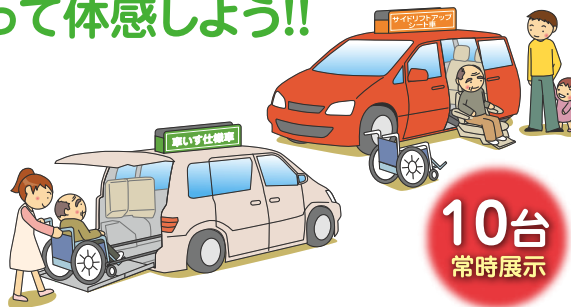
トヨタハートフルプラザは、トヨタの福祉車両 「ウェルキャブシリーズ」の総合展示場です。

来て、見て、さわって体感しよう!!

ウェルキャブを常時10台取り揃え、
カタログだけではわからない実車の
使い勝手や機能・操作の確認をして
いただけます。

専任のスタッフがお客一人ひとりの
ご要望にあったクルマ選びのお手
伝いをいたします。

カスタマイズの相談も承ります。
お気軽にご来場ください。



10台
常時展示



〒650-0023
兵庫県神戸市中央区栄町通7-1-3-2F
神戸中央郵便局西向い

トヨタウェルキャブ 総合展示場 トヨタハートフルプラザ神戸 TEL.078-366-1616 FAX.078-360-0399

営業時間 午前10:00～午後6:00
定休日 毎週月曜日および第2週火曜日（祝日の場合は翌日）

ハートフルプラザ神戸

検索

<http://toyota.jp/heartful/>

きずな♥️KOBÉ 第16号 (2017年7月発行)

発行 社会福祉法人 神戸市社会福祉協議会
〒651-0086 神戸市中央区磯上通3-1-32 こうべ市民福祉交流センター
<http://www.with-kobe.or.jp/> TEL 078-271-5306 FAX 078-271-5366
製作 株式会社高速オフセット

「きずな♥️KOBÉ」では、企業等の広告を募集しています。
広告掲載のお問い合わせは、078-271-5306 神戸市
社会福祉協議会 広報交流課へ。

神戸市社協広報印刷物登録
平成29年度第9—1号 広報印刷物規格A—3類



この広報誌は、ふれあいのまちKOBÉ・愛の輪運動の補助を受けて発行しています。